



まごころ便り

平成26年6月9日発行
荒川区立第七中学校
学校だより 第3号
校長 近江 貞之

中学生の役割を果たす

校長 近江 貞之

6月19・20日に定期考査を迎えます。学校は勉強するところ、定期考査は運動会や修学旅行と同じように皆さんを成長させる、大切な教育活動です。

3年生にとっては、日々の学習状況の評価とともに、これからの1回1回の定期考査は進路決定に向けて、大切な資料になります。

2年生は、下田移動教室直後で、準備期間が短いため、より普段の学習の姿勢が試されることになります。

1年生にとっては、初めての定期考査で、未知なるものへの挑戦になります。小学校のテストとの大きな違いを感じることでしょう。中学校での学習の仕方を学ぶ機会になります。

定期考査は評価・評定、成績の基礎資料になり、3年生にとっては、定期考査等から出される内申点は、入学選抜試験の可否に直接関わるため、重要なものになります。

定期考査の結果と評価は密接に関係がありますが、成績のためだけに実施しているわけではありません。学習内容がきちんと身に付いたか確認するためのもの、また、身に付けるために日々努力したか、生徒として学習する役割をきちんと果たしているか、を測るものです。そのことから、日々の生活・学習の姿勢を見直すものになるといえます。

5月26日(月)にキャリア教育の一環として、社会の第一線でご活躍の、文部科学省企画官をはじめ官公庁の方、企業の課長級の方、合計12名様にご来校いただき、仕事のこと、中学生として今やっておかなければならないことの講話を、2・3年生は聞きました。

よりよい社会の形成を目指して法律を整備する国家公務員、社会を豊かにする製品やサービスを生み出すために努力する企業の皆様の役割や仕事に取り組む姿勢は、定期考査でよりよい成績を上げるために努力することや取り組む、生徒の役割に通じているように聞きました。

思いつきで法律を作るわけでも、偶然にいい商品やサービスができるわけではありません。その基本となるのは、基礎基本の学力と講師の方々がお話になっていました。その上に、得意なこと興味のあることを深く学ぶこと、あきらめずに努力することが必要だとお話になっていました。

学校は勉強するところ、させるところと考えています。そのため、学校経営方針の本年度の重点項目に、学力の向上を第1に挙げました。

6月は修学旅行の事後学習、下田・清里移動教室の事前学習・実施・事後学習と続きますが、定期考査を機会に総復習して、今まで学んできたことを定着させてほしいと思っています。学んだことを定着させる中で、分からないところ・できないところを見つけ出し解決する、解決する方法を身に付ける、を行ってください。そして成果を得る、この姿勢や意欲が大切だと考えています。

◇◇6月行事予定◇◇

日	曜	学校行事・学年行事
1	日	
2	月	全校朝礼 補充教室(英語検定)
3	火	補充教室(英語検定)
4	水	職員会議 避難訓練
5	木	補充教室(数学検定)
6	金	補充教室(数学検定)
7	土	英語検定
8	日	
9	月	移動教室始(2)
10	火	
11	水	移動教室終(2)
12	木	安全指導 補充教室
13	金	PTA総会・歓送迎会 補充教室
14	土	
15	日	
16	月	全校朝礼 水泳指導始 補充教室
17	火	補充教室
18	水	荒教研(外)
19	木	定期考査①
20	金	定期考査①
21	土	数学検定
22	日	
23	月	生徒朝礼 学力テスト(3)
24	火	第1回進路説明会
25	水	校内研修会
26	木	
27	金	
28	土	授業公開日
29	日	
30	月	移動教室始(1)定期健康診断終

◇◇キャリア教育講話授業◇◇

5月26日(月)2.
3年生対象に企業、官公庁のキャリアの方からお話をうかがう「生き方を考える」授業を行いました。講師の皆様、ありがとうございました。



<講師紹介> 所属、(担当業務)

防衛省(戦闘機パイロット育成)、サッポロビール(株)(ブランドマーケティング)、総務省(情報通信分野)、(株)みずほフィナンシャルグループ(経営企画全般)、環境省(地球温暖化対策、福島被災者支援)、東京ガス(株)(人事・総務)、国土交通省(運輸、官民交流)、住友金属鉱山(株)(財務)、日本銀行(発券、銀行業務等)、東レ(株)(人事・勤労)、日本電信電話(株)(次世代ネットワーク運行管理)、文部科学省(法令作成、制度企画)

◇◇補充教室(あらかわ寺子屋事業)◇◇

基礎学力の定着と学習習慣の確立を目標に補充教室に取り組んでいます。考査前には全員で課題に取り組んだ後、質問教室を行います。英検、漢検、数検の前には、受験者に対して勉強会を実施しています。

補充教室は、「あらかわ寺子屋事業」によって配置された学習指導員、T Aを活用し、きめ細かい指導を行っています。

◆◆校内研修だより◆◆

* 七中は、授業力向上研修に取り組んでいます。

テーマ 「まごころをもって生きる生徒の育成 ～生徒理解と授業力向上のための実践～」

【平成26年度授業力向上研修(全体)年間計画】

回	月 日	内 容	講 師
第4回	7月16日(水)	研究授業 1 G 英語 3 G 社会	東京女子体育大学 教授 小林 福太郎 様
第5回	9月10日(水)	研究授業 1 G 音楽 2 G 理科	
第6回	1月28日(水)	研究授業 1 G 国語 2 G 数学 3 G 保体	

<全体研修

グループ分け>

第1グループ(1G)

国語、音楽、英語

第2グループ(2G)

数学、理科、技家

第3グループ(3G)

社会、美術、保体

授業力向上研修は、全体研修と教科別研修の二本立てで研究授業、研修を行います。全体研修では、講師の先生のご指導のもと教師全員が七中の進むべき方向性を共有します。教科別研修では、教科ごとに講師を招聘し、課題解決に取り組みます。